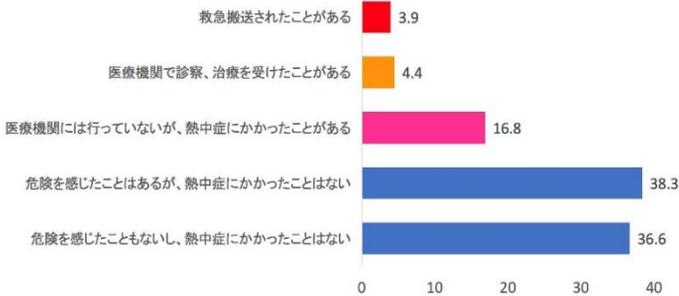


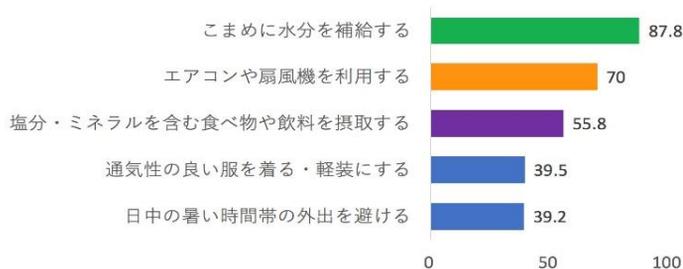
熱中症と予防対策について

「熱中症ゼロプロジェクト」を推進する、一般社団法人日本気象協会が、2018年10月、東京都・大阪府・福岡県・愛知県・宮城県に在住の20歳以上の男女1,298人に行った、「熱中症に関する意識調査」による

過去に熱中症にかかったことがありますか？



熱中症予防や対策として実践していることは？



と、「過去に熱中症にかかったことがありますか？」の質問に対し「救急搬送されたことがある（3.9%）」、「医療機関で診察、治療を受けたことがある（4.4%）」、「医療期間には行っていないが、熱中症にかかったことがある（16.8%）」の回答を含めると、約4人に1人が「熱中症にかかったことがある」とわかりました。また熱中症予防や対策として、水分補給や、エアコン・扇風機の利用という回答が多くあがったようです。夏にむけて早めに意識し、しっかり対策をしていきたいものです。



※日本気象協会「熱中症に関する意識調査」2018年10月 N1,298

東芝商品情報

‘新形状10枚羽根’と‘旋回風’で10m先の広範囲まで涼風を届ける スタンド扇風機「F-DSX1000」発売

一強力なのに省エネ・静音設計、24段階の風量切替え可能で様々な使用シーンに対応—

「新形状10枚羽根」と「旋回風」で最大約10m先の広範囲まで風を届けるから、広いリビングにもピッタリ

大きな羽根と小さな羽根、各5枚を組み合わせた直径約40cmの新形状の10枚羽根が、独自の気流を発生させます。形状が異なる大小の羽根のうち、小さな羽根には大きな羽根の起こす風を整流する効果があるため、約10m先まで風が届きます。さらに羽根の回転軸が円を描くように動くことで羽根全体が上下左右に5°旋回し、気流を拡散させる「旋回風」で風の到達範囲を広げます。



当社は、信州の上高地で吹風の強弱をデータ化し、高原の自然の風をイメージした「ランダム風」として再現した快適な風を提案しています。今回、近年増加傾向にある多用途化するリビングルームの拡大化や公共スペースでの使用を想定し、広範囲にしっかり風が届く、メタリックなデザインのスタンド扇風機を開発しました。

省エネ＆静音設計の「DCモーター」

使用シーンに合わせて、連続風24段階（ランダム風は3段階）に風量調整が可能です。また、「風量「1」/首振り・旋回なし」設定の場合、消費電力は最小2Wで、運転音も約13dBと省エネ・静音設計のDCモーターを採用しています。



触れるだけで操作できる「静電タッチパネル」と操作しやすい「液晶付きリモコン」

本体操作部には、デジタル表示で運転状況が一目で分かり、触れるだけで操作できる静電タッチパネルを採用。また、風量、運転モード、タイマーなどの運転状態が手元で確認できる液晶画面で、操作がしやすいリモコンを付属しています。



静電タッチパネル 液晶付きリモコン